

発 言 通 告 書

令和4年12月16日

松山市議会議長 渡部克彦 殿

松山市議会議員 池田美恵

次のとおり通告します。

発言順位	1 2	受領日時	12月 16日 午前 11時 35分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式	一括方式	発言時間	約 60 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・農業委員会会長	・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長	・公営企業管理者

No.	件 名	発 言 の 要 旨
1	市長4期目の公約のキャッチフレーズ「より優しくより強いまつやまへ」について	(1)公約の「より優しく」を実現していくためのポイントはどこにあると考えているのか。 また、職員が政策立案や業務を行う判断基準として「より優しく」の意味や考え方をどのように伝えているのか。 (2)野志市長4期目のキャッチフレーズの「より優しくより強いまつやまへ」をどのように市民と共有していくつもりか。
2	こども家庭部の創設について	(1)今年度の子ども政策関連予算の総額と来年度の同予算の総額ほどの程度になる見込みか。 (2)子ども政策を強化するため、きめ細かい実態調査を行う必要があると考えるが見解を問う。 (3)まつやま子ども育成会議やまつやま子ども会議の提言を子ども政策へ生かすことについて
3	政策立案、意思決定の場への女性参画について	(1)本市職員の指導的地位への女性参画について ①松山市特定事業主行動計画策定後の女性管理職の割合の推移と最新値について ②これまでに実施した具体的な施策とその効果及び課題について ③内閣府の第5次男女共同参画基本計画における指導的地位に占める女性の割合を2020年代の早期に30%程度とする目標の達成に向けた今後の取組や目標数値について (2)市内事業者等の指導的地位への女性参画について ①女性管理職が占める割合の現状認識について ②行政からのアプローチの基本方針について ③今後の支援や参画度向上の取組について (3)政治分野における男女共同参画の推進に関する今後の取組について

No.	件名	発言の要旨
		(4)本市の政策立案、意思決定の場への女性参画に向けた市長の決意を問う。
4	自治会について	(1)加入率の低下について市はどのような意見を持っているのか。
		また、住民から自治会入会の必要性を問われた場合の市の対応について
		(2)申請者が自治会となり市がサービスの提供を行っている業務の例
		示について
		また、自治会の負担感や課題に対してどのように考えているのか。
		(3)本市における自治会の位置づけや今後、市が考える自治会との協
		働姿勢について